

安全衛生に向けた各種取組について

ひらいで工業団地総合管理協会（正式名称：（一社）宇都宮工業団地総合管理協会）においては、工業団地や会員企業の持続的な発展に向け、課題の把握、課題解決に向けた取組等を積極的に実施しています。近年では、会員企業のみならず経済界全体における喫緊の課題である「人材の確保や定着」に資するべく、PR事業などに取り組んでいます。

今回のテーマである「会員企業の安全衛生」については、各企業において、そこに従事する方が安全に安心して働ける環境を構築することは、従業員にとっても、求職者にとっても「選ばれる企業」へとつながり、企業の持続的発展を目指すうえで、非常に重要であると考えています。

令和7年度の取組としては、

まずは、従来から毎年実施している研修について、企業活動を支える従事者に焦点をあて、「人間関係の良い職場づくり」として、「ハラスメント研修」を実施しました。

この研修を行ったのは、企業への非定期的なヒアリングの中で「管理職が部下に指導を行うシーンにおいて、どこまでが指導で、どのからがアウトなのかが理解しきれていない。管理職が不安を感じている」との話が出たことがきっかけでした。研修にあたって、講師の社会保険労務士に、研修を行う動機や具体的にどんな形式・内容にして欲しいのかを事細かに伝え、結果として、ハラスメントとは何か、どこまでが指導でどこからがハラスメントになるのか、どこがダメだったのか、どうすればいいのかについて、法や事例を基にした実践的な研修とすることができ、参加者も満足されていました。

また、新たに取り組むPR事業の一環として、ひらいで工業団地で働く誰もが、

- ・誇りを持って働けるよう「安全で清潔な職場環境の構築」や、
- ・子育てや介護がしやすいよう

「育児等休暇の取得や子育て支援サービスが利用しやすい各種事業」など、取組に着手したところであり、これらは今後、様々な形により成果として現れてくるものと期待しています。

ひらいで工業団地総合管理協会では、専門家を招いての研修事業と、自らが企画者・実施者となって知恵を絞って汗をかく、数々のユニークな取組により、今後とも会員企業の安全衛生の確保のみならず、会員企業の持続的発展に寄与してまいりたいと考えています。

